

金沢大学安藤研究室および熊本大学小椋研究室では、それぞれポスドク1名を募集します。

この度、科学技術振興機構（JST）の戦略的創造研究推進事業（CREST）の平成25年度の新規研究課題として、『ATP/GTPが駆動するタンパク質マシナリーの動的構造生命科学（研究代表者：安藤敏夫）』が採択され、5年半の研究を開始しました。

<http://www.jst.go.jp/kisoken/application/2013/20131001senryaku.pdf>

研究代表者安藤（金沢大）は、『高速AFMの応用技術開発とATPase/GTPaseの高速AFM解析』の研究を、主たる共同研究者小椋（熊本大）は、『AAA型及びその他の分子シャペロンの高速AFM解析』の研究を遂行するため、それぞれポスドクを募集します。それぞれの募集案内は以下の通りです。意欲的な方の応募を期待します。

●ポスドク募集

金沢大学理工研究域・数物科学系・生物物理学研究室は、CREST研究課題『ATP/GTPが駆動するタンパク質マシナリーの動的構造生命科学（研究代表者：安藤敏夫）』の分担課題『高速AFMの応用技術開発とATPase/GTPaseの高速AFM解析』（平成25年10月～平成30年3月）の研究を遂行するため、平成26年4月着任予定のポスドク（博士研究員）を募集します。モータタンパク質、コンデンシン、ダイナミンなどのATPase/GTPaseの高速AFMによる機能発現機序解明に関心があれば、必ずしも経験は問いません。

研究テーマ：（１）コンデンシンの高速AFM解析、（２）モータタンパク質系の高速AFM解析、（３）ダイナミン系の高速AFM解析、のいずれか、あるいは関連するタンパク質系の高速AFM解析を担当していただきます。

職種：博士研究員

任期：単年度契約ですが、更新可

勤務地：金沢大学理工研究域・数物科学系・生物物理学研究室（石川県金沢市角間町）

募集人員：1名

応募資格：博士の学位を取得している方（来年3月取得見込みを含む）で、タンパク質の発現・精製の経験があり、上記の研究テーマに取り組む意欲のある方

待遇：金沢大学の規定による（時間外勤務手当などあり）

募集締切：平成26年2月1日（土）（ただし、適任者が決まり次第締切）

着任時期：平成26年4月（4月に着任できない事情がある場合はご相談ください）

応募書類：関心のある方は、なるべく早く、安藤敏夫までメールでご連絡下さい。まずは、簡単な履歴と業績（論文・学会発表等）、これまでの研究概要（500～1,000字程度）、専門分野・特技等、着任後に希望する研究内容、及び本人について照会できる方についてメールで提出してください。応募書類は、本公募の選考にのみ使用し、選考終了後は廃棄し、返却しません。

選考方法：書類選考を行い、通過者には面接を行います。面接は原則として、ご来訪いただいて実施しますが、ご来訪が困難である方、特に海外在住者についてはSkypeによる面接も可能です。面接時に、セミナーをお願いする場合があります。書類選考結果は書類受理後のできるだけ早い時期に、最終選考結果は、平成26年2月22日（土）までにメールで通知します。

連絡先：メール（tando@staff.kanazawa-u.ac.jp）または電話（076-264-5663）。可能な限り、メールでご連絡ください。メールの表題は、「ポスドク応募_応募者氏名）」としてください。メール受信後、3日以内に受信した旨返信メールでお知らせします。3日以内に

返信メールが届かない場合、あるいはメールでのご連絡が困難である場合には、電話でご連絡ください（平日の14:00-22:00）。

金沢大学理工研究域数物科学系生物物理学研究室WEB
<http://www.s.kanazawa-u.ac.jp/phys/biophys/index.htm>

●ポスドク募集

熊本大学発生医学研究所分子細胞制御分野は、CREST研究課題『ATP/GTPが駆動するタンパク質マシナリーの動的構造生命科学（研究代表者：安藤敏夫）』の分担課題『AAA型及びその他の分子シャペロンの高速AFM解析』（平成25年10月～平成30年3月）の研究を遂行するため、平成26年4月着任予定のポスドク（博士研究員）を募集します。AAAファミリータンパク質や分子シャペロンについて関心があるか、原子間力顕微鏡・プローブ顕微鏡・電子顕微鏡などによる画像解析に興味がある方であれば、必ずしも経験は問いません。

研究テーマ：（１）AAA型分子シャペロンの高速AFM解析、（２）26Sプロテアソームの高速AFM解析、（３）AAA型以外の分子シャペロンの高速AFM解析、のいずれかを担当していただきます。

職種：博士研究員

任期：2年（単年度契約ですが、2年は保証します。さらに延長の可能性もあります）

勤務地：熊本大学発生医学研究所分子細胞制御分野（熊本県熊本市中央区本荘2-2-1）

募集人員：1名

応募資格：博士の学位を取得している方（来年3月取得見込みを含む）で、上記の研究テーマに取り組む知識・技術と意欲のある方【ただし、修士の学位を取得している方で、特に優れた知識と経験をお持ちの方は、審査のうえ、リサーチスペシャリスト(*)として採用できる場合がありますので、ご照会下さい】

待遇：熊本大学の規定による

募集締切：平成26年1月10日（金）（ただし、適任者が決まり次第締切）

着任時期：平成26年4月（4月に着任できない事情がある場合はご相談ください）

応募書類：関心のある方は、なるべく早く、小椋 光（分子細胞制御分野担当教授）までメールでご連絡下さい。まずは、簡単な履歴と業績（論文・学会発表等）、これまでの研究概要（500～1,000字程度）、専門分野・特技等、着任後に希望する研究内容、及び本人について照会できる方についてご連絡ください。応募書類は、本公募の選考にのみ使用し、選考終了後は廃棄し、返却しません。

選考方法：書類選考を行い、通過者には面接を行います。面接は原則として、ご来訪いただいて実施しますが、ご来訪が困難である方、特に海外在住者についてはSkypeによる面接も可能です。面接時に、セミナーをお願いする場合があります。書類選考の結果は、合否にかかわらず、平成26年1月20日（月）までに、また、最終選考結果は、平成26年1月31日（金）までにメールで通知します。

連絡先：メール（ogura@gpo.kumamoto-u.ac.jp）または電話（096-373-6578）。可能な限り、メールでご連絡ください。メールの表題は、「ポスドク応募_応募者氏名」としてください。メール受信後、3日以内に受信した旨返信メールでお知らせします。3日以内に返信メールが届かない場合、あるいはメールでのご連絡が困難である場合には、電話でご連絡ください（平日の9:30-20:00）。

備考：面接後、ご了解のうえ、研究機関特定事業研究員に応募していただく可能性があります。特定事業研究員に採用された場合も研究内容・待遇等は同じです。また、有資格者

には、本人のキャリアパスのためにも採用後、日本学術振興会特別研究員への申請を推奨します。リサーチスペシャリスト(*)は、テクニシャン（研究補助員）の上位職として、熊本大学で設けている職種です。

熊本大学発生医学研究所分子細胞制御分野WEB

http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/divisions/molecular_cell_biology/